

平成 19 年度概算要求・要望における政策群の取組について

「政策群」

- ① 規制改革・制度改革と予算措置を組み合わせ、構造改革と予算との連携を強める
- ② 原則として府省横断的に対応することで、政策の実効性・効率性を高める
- ③ より少ない財政負担で、民間活力を最大限引き出す

○ 平成 19 年度概算要求・要望においては、18 年度に引き続き、以下の 18 群が概算要求・要望に盛り込まれた。

安心して生活できる社会の構築のために

- 健全な心身を培い、豊かな人間性を育むための「食育」の推進
(内閣府、内閣府食品安全委員会、文部科学省、厚生労働省、農林水産省)
- 木材利用の推進による環境と人にやさしい社会の構築 (厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省)
- ユビキタスネットワークを活用した食の安全・安心の向上 (総務省、農林水産省、経済産業省)
- 少子化の流れを変えるための次世代育成支援 (内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省)
- 若年・長期失業者の就業拡大 (内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省)
- 世界最先端の「低公害車」社会の構築 (総務省、経済産業省、国土交通省、環境省)

都市と地方の活性化のために

- 建設業の新分野進出促進支援 (厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)
- 競争的研究資金の改革と充実
(内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)
- コンテンツビジネスの振興 (公正取引委員会、金融庁、総務省、文部科学省、経済産業省)
- 緑豊かで安全・快適な都市の再生 (内閣府、警察庁、文部科学省、厚生労働省、国土交通省)
- 都市と農山漁村の共生・対流の推進 (総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省)
- 外国人が快適に観光できる環境の整備 (総務省、法務省、外務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省)
- 科学技術駆動型の地域経済発展
(内閣府、金融庁、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省)

安全な社会の実現のために

- ITを活用した医療の利便性向上 (厚生労働省、経済産業省)
- 感染症対策の充実・強化 (文部科学省、厚生労働省、農林水産省、環境省)
- 災害等緊急事態対応の強化 (内閣府、総務省、国土交通省)
- 民間との協働による犯罪者の更生と社会復帰支援体制の構築 (法務省)
- 安全かつ効率的な国際物流の実現
(金融庁、総務省、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省)

○ 上記 18 群の合計で 2 兆 9,030 億円 (ほか 3,061 億円の内数) の要求・要望がなされたところである (計数については精査中であり、今後異動があり得る)。